

# 豊水

静岡県水産試験場

駿河湾深層水水産利用施設

Suruga-Bay Deep Seawater Aquaculture Research Center

of Shizuoka Prefectural Fisheries Experiment Station

## 平成 17 年度当初にあたり

駿河湾深層水水産利用施設は、深層水のもつ低温安定性、清浄性、高栄養性等の特性を利用し、水産生物の種苗生産等における利用技術開発を行うことにより、本県の水産振興に寄与することを目的としています。当施設は水産試験場本場の附属施設とし、平成 16 年 4 月に開所しました。

平成 16 年 9 月には、静岡県農業水産部水産総室において「静岡県水産基本政策プログラム」が策定され、駿河湾深層水の利活用の促進として効果的な魚類、甲殻類、藻類の増養殖技術の開発を図ることが掲げられています。平成 17 年度も引き続き、水産生物の増養殖技術の開発を進めていく予定です。

## 研究スタッフ紹介

### 水産試験場利用普及部深層水研究室

主任研究員 高瀬進

担当：カサゴ親魚養成技術開発研究等

主任研究員 岡本一利

担当：深海性甲殻類養成技術開発研究等

主任研究員 花井孝之

担当：有用微細藻類・微生物の探索と利用  
技術開発研究等

技 師 二村和視

担当：サガラメ・カジメ種苗培養研究  
アワビ陸上養殖研究等

## 研究課題の内容

サガラメ・カジメ種苗培養研究	磯焼けからの回復、サガラメの新規養殖のため、深層水を利用してサガラメ・カジメの種苗培養技術の研究を行う
深海性甲殻類養成技術開発研究	タカアシガニ、アカザエビなどの資源増大等を図るため、清浄性、低温性の特徴を持つ深層水を利用して種苗生産技術の開発を行う
カサゴ親魚養成技術研究	安定した種苗生産を推進するため、産仔親魚の養成技術の開発を行う
アワビ陸上養殖技術開発研究	殻長30mm以上のアワビ陸上養殖技術を開発する
駿河湾産微細藻類利用開発研究	駿河湾深層水に生育する有用微細藻類を探索し、その大量培養と利用技術を開発する
駿河湾深層水利用で飼育・培養可能な水産生物の探索	甲殻類、魚類、貝類などの水産動物や、海藻などの水産植物および動植物プランクトンなどの微生物の飼育・培養の可能性を探索する。